



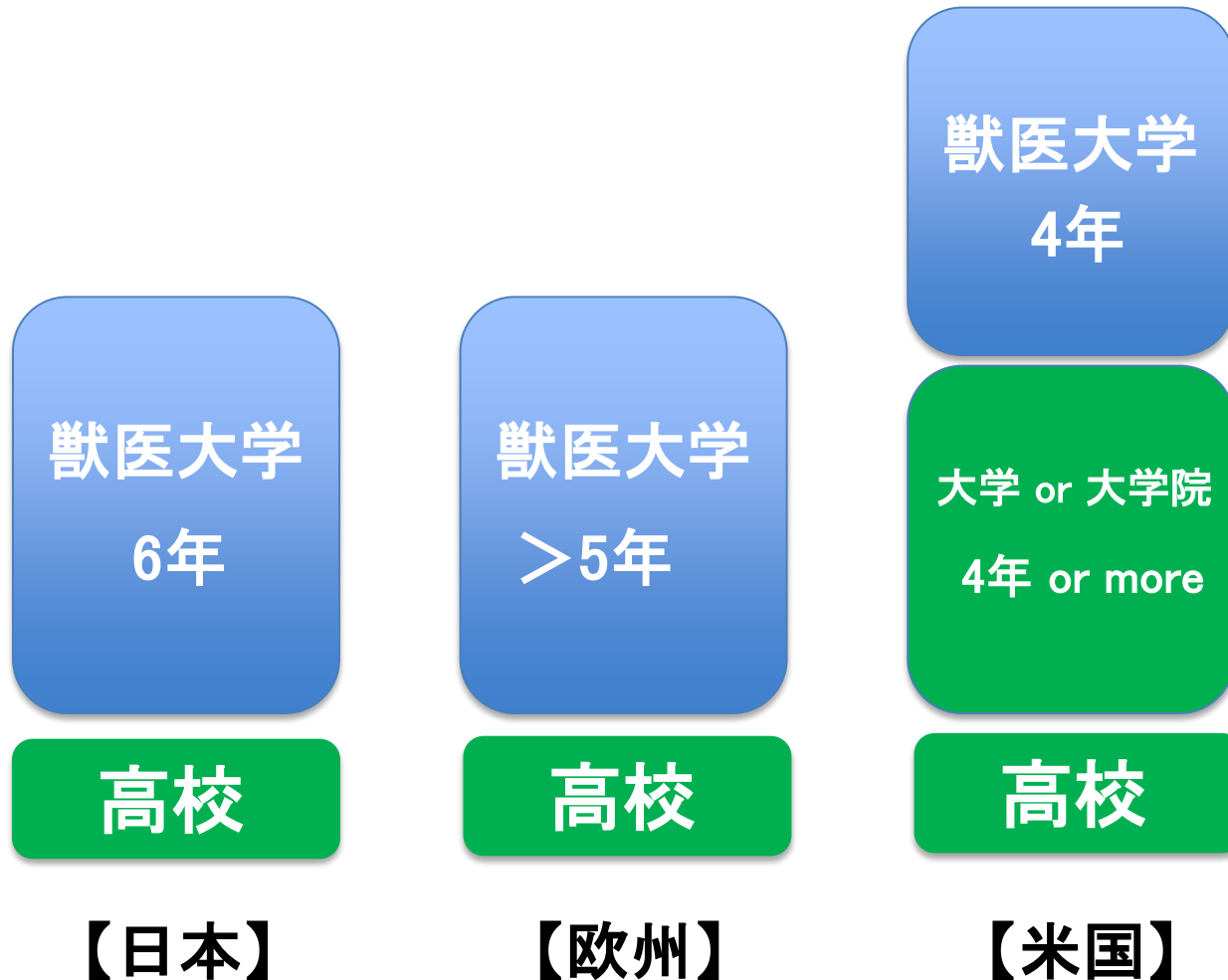
帯広畜産大学  
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

# 欧米における獣医学教育の現状と 認証評価制度

帯広畜産大学 副学長(国際連携担当)  
北大・帯畜大共同獣医学課程 課程長  
倉園 久生

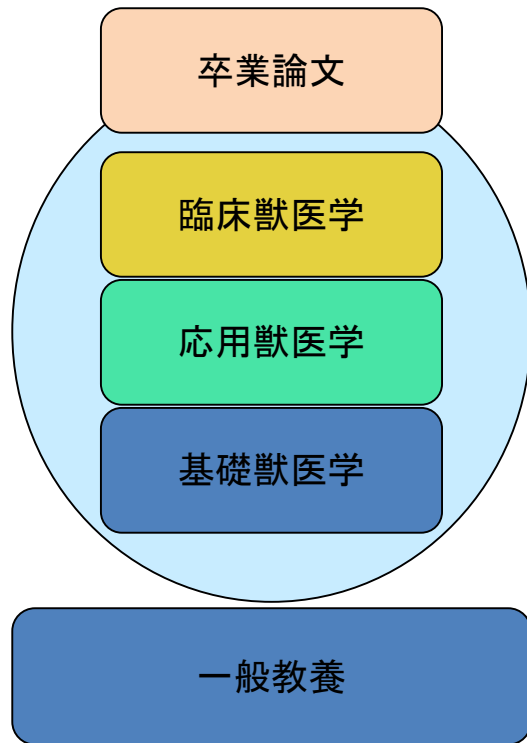
平成29年12月9日 市民公開連携シンポジウム

# 日米欧の獣医学教育年限



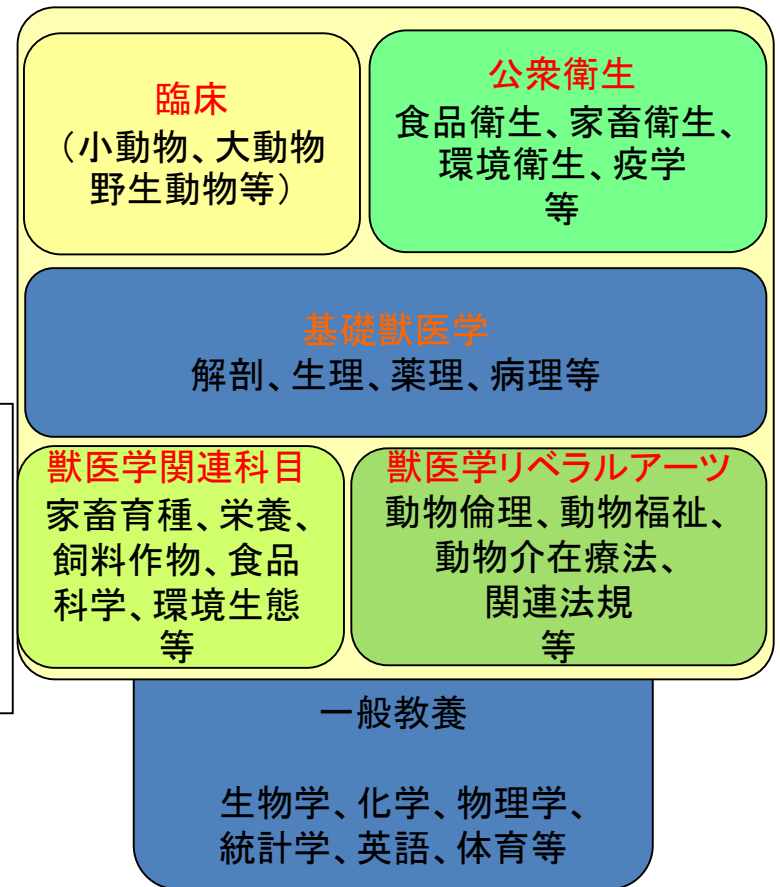
# 日欧の獣医学教育の比較

## 従来の日本の獣医学教育



【研究重視】

## 欧米の獣医学教育



【実務実習重視】

【文部科学省】  
獣医学教育の改善・充実に関する調査  
研究協力者会議

グローバル化

【OIE】  
獣医学教育の世界水準作成  
1. 動物福祉  
2. 獣医疫学  
3. 食の安全  
4. 公衆衛生

# ウィーン獣医科大学の教育(1)

- 1765年 マリア・テレジア皇后により創設
- オーストリア唯一の獣医科大学(6年制)
- 教職員数1,218名(教授39名、教員648名)
- 学生数2,286名(279卒業生／381名)
- 5病院(伴侶動物、馬、反芻動物、豚、鳥及び魚)



【2013年のデータ】

# ウイーン獣医科大学の教育(2)

## カリキュラム(6年制)

1年: **教養教育**

2年: **コア科目**(解剖学、生理学など)

3年: **コア科目**(病理学、薬理学、微生物学など)

4年: **プレクリニック**(内科、外科、麻酔学、繁殖学、家禽学など)

5年: **動物別臨床教育**(伴侶動物、馬、牛、豚、鶏など)

6年: **病院実習**と卒論





# ウイーン獣医科大学の教育(3)

## 4年生: **プレクリニック**

(内科、外科、麻酔学、繁殖学、家禽学など)

- 講義と実習
- 12週の病院実習
- 病院実習後にOSCEテスト
- 臨床検査の技能試験



# ウィーン獣医科大学の教育(4)

スキルラボ: マネキンを用いた  
臨床手技の自学習設備



# ウイーン獣医科大学の教育(5)

## 5年: 動物別臨床教育

(伴侶動物、馬、牛、豚、鶏など)

- 4年生でOSCEに合格することが受講条件
- 前期に動物別臨床実習  
10週間(2週間/動物)  
1日に1時間講義
- 後期は高度獣医療の講義
- 動物別臨床実習のOSCE





# ウイーン獣医科大学の教育(6)

## 6年: **病院実習**と卒論

### ■ 前期は残りの実務実習を行う

6週間の病院実習

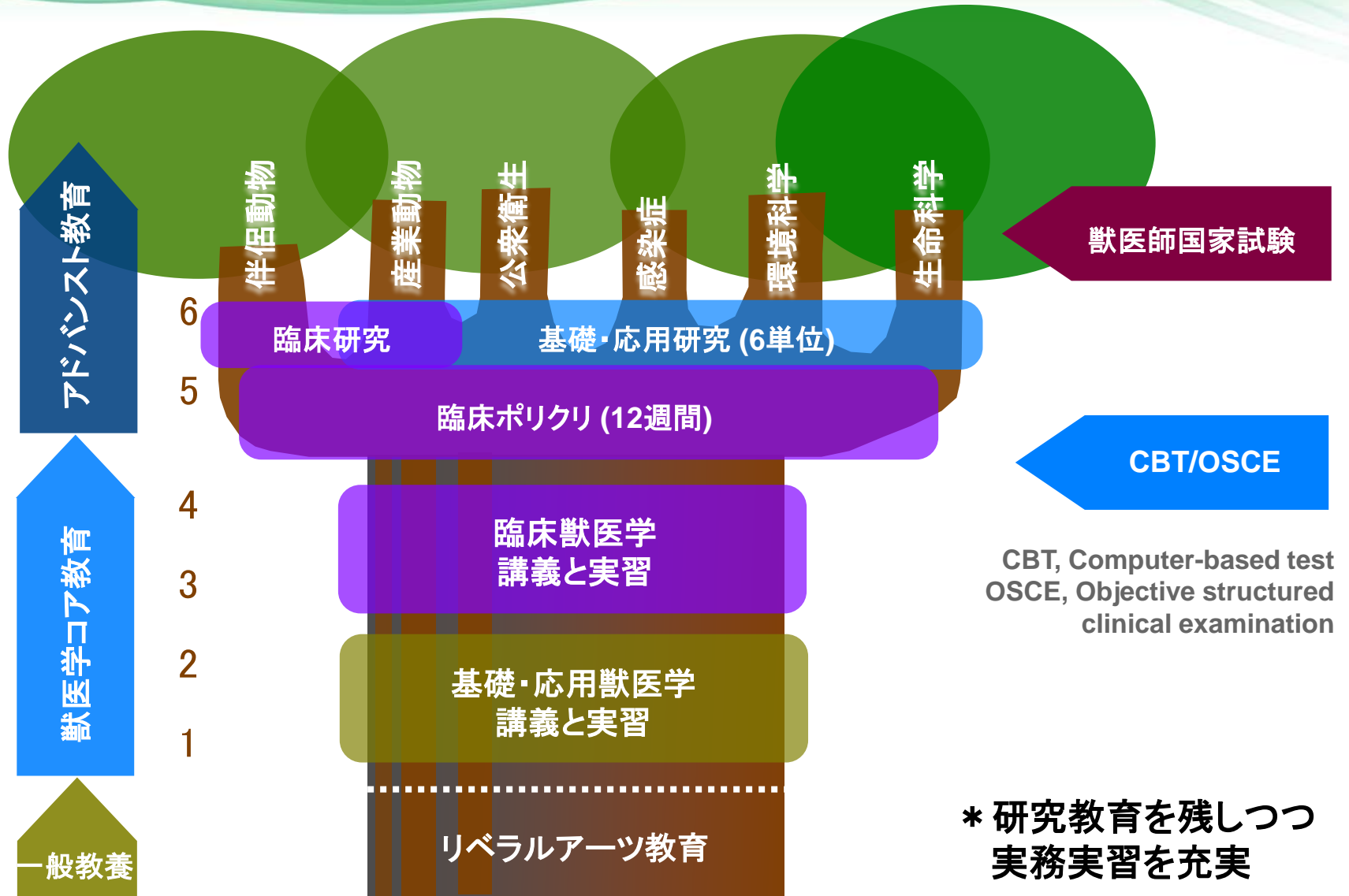
4週間の食肉検査実習

2週間のプレクリニック実習(病理学、微生物学)

### ■ 後期は卒論



# 共同獣医学課程の獣医学教育体系



# 北大一帶畜大 共同獸医学課程

## 北海道大学獣医学部

### 札幌(都市型)



人獣共通感染症リサーチセンター

## 帯広畜産大学畜産学部

### 帯広(農村型)

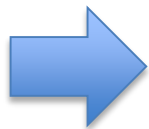
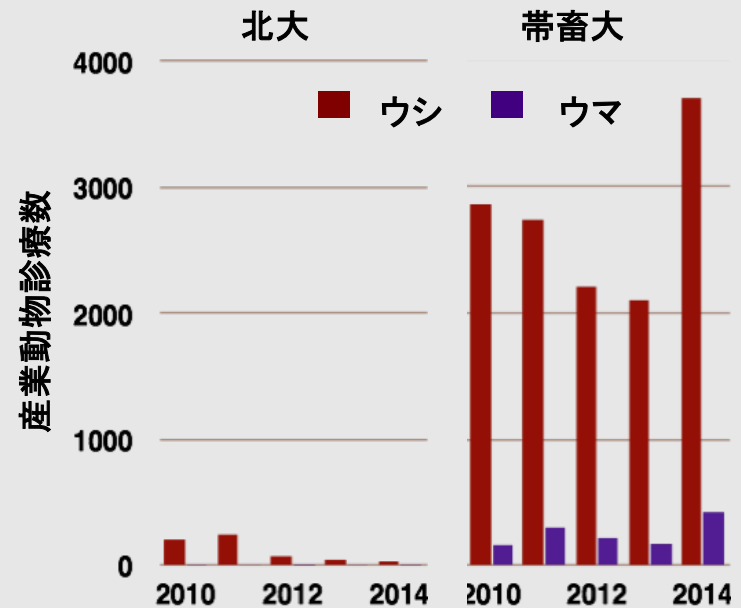
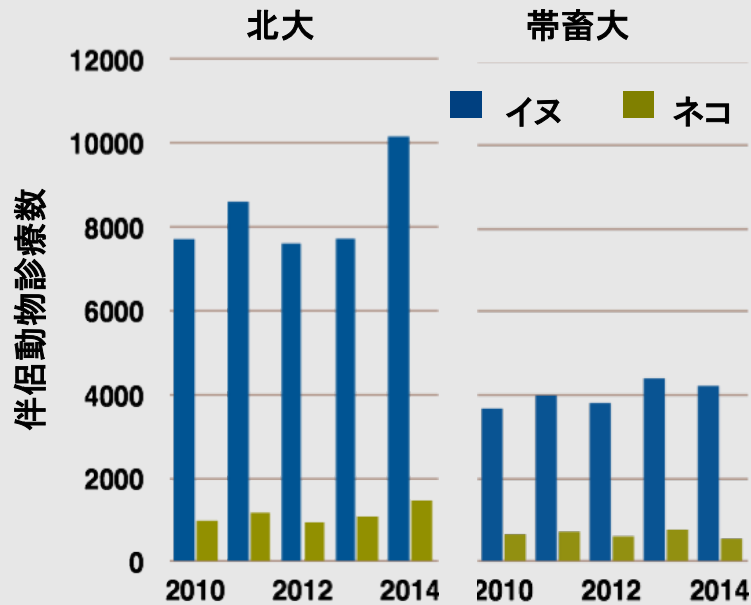


原虫病研究センター

動物・食品検査診断センター

教員・学生移動  
(35単位互換)

# 北大と帯畜大の症例数の比較



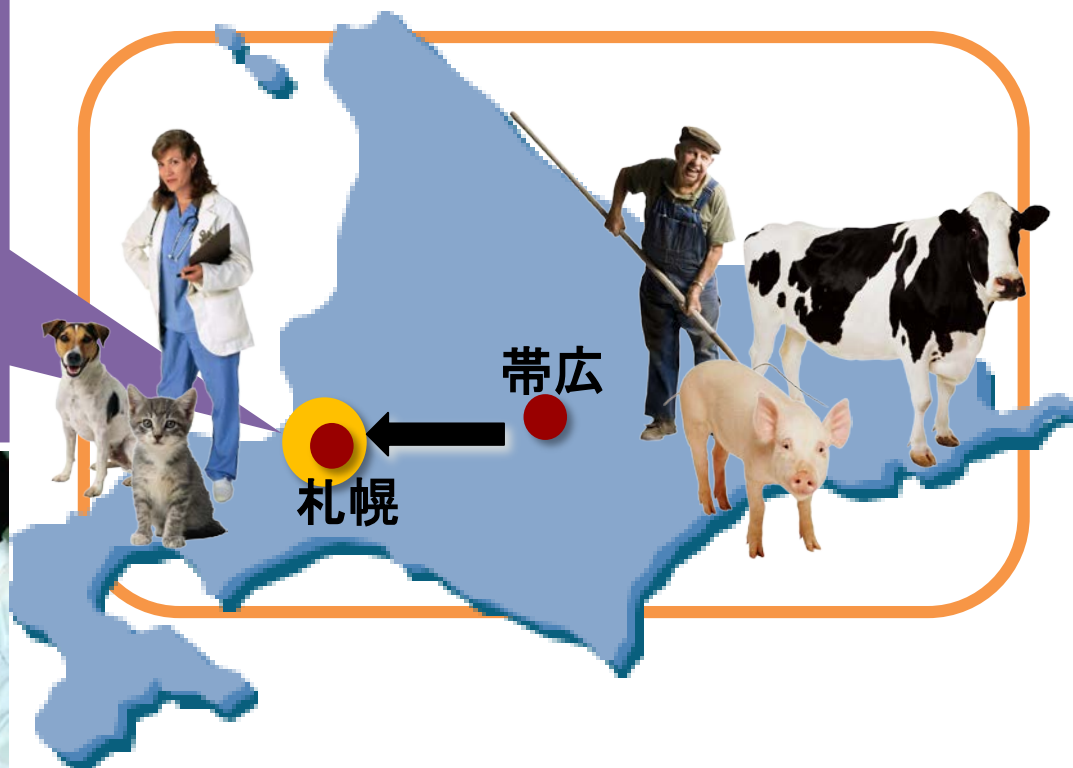
臨床実務実習の相互補完



# 学生移動による伴侶動物臨床実習の強化



伴侶動物ポリクリ  
北大生40名  
畜大生40名

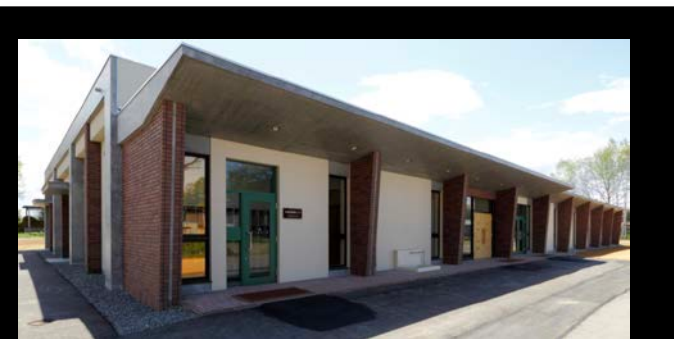
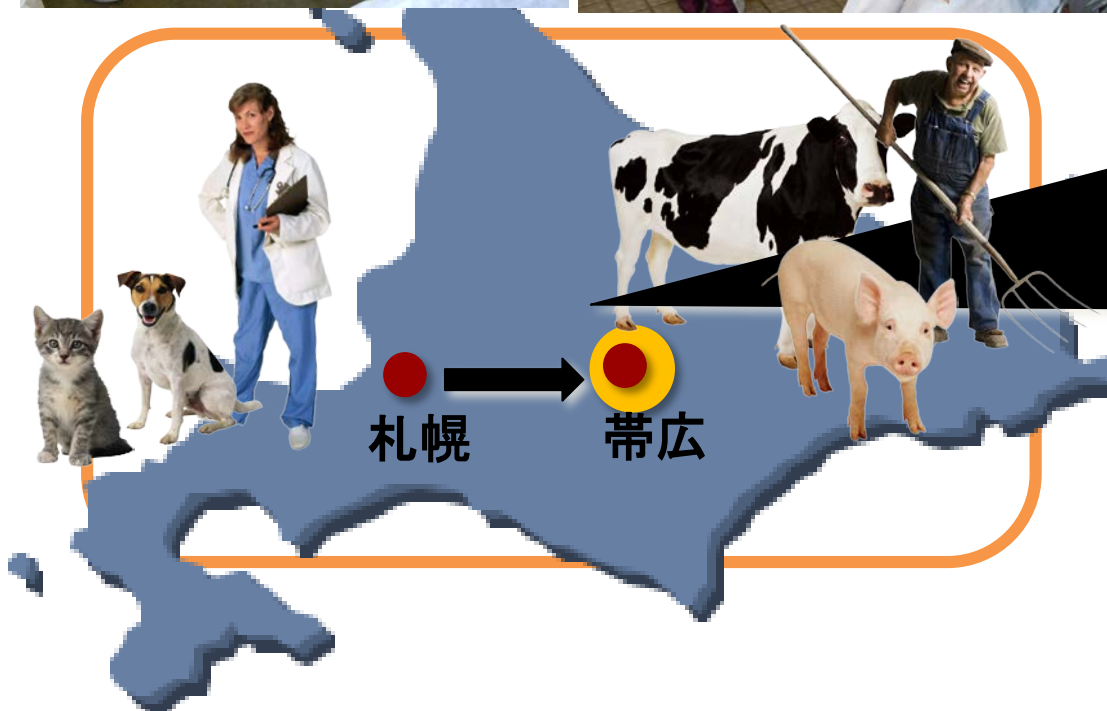




# 学生移動による産業動物臨床実習の強化



# 学生移動による公衆衛生実務実習の強化



食肉衛生検査実習  
畜大生40名  
北大生40名



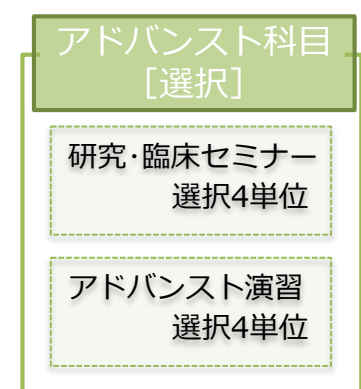
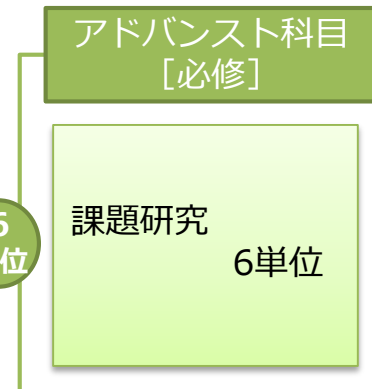
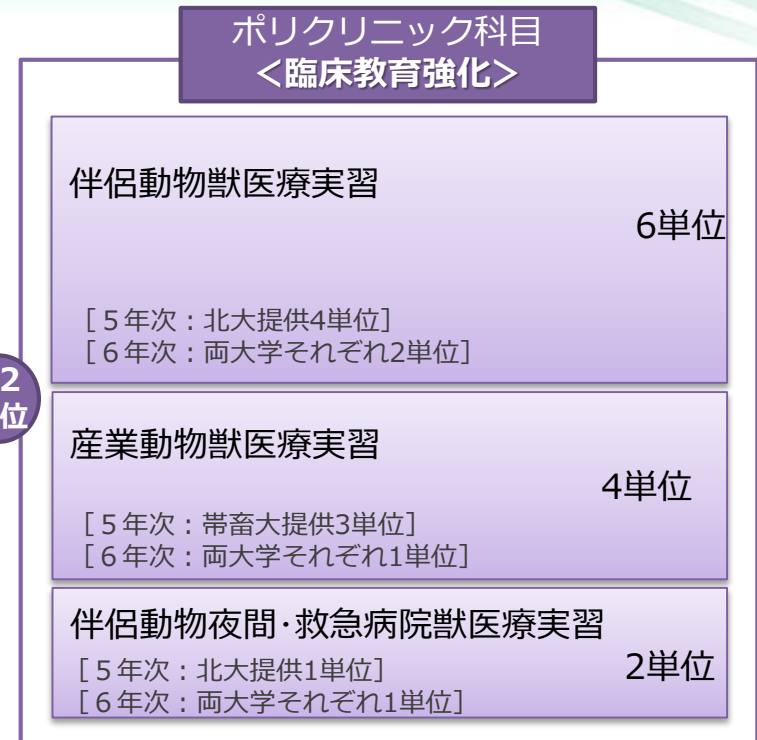
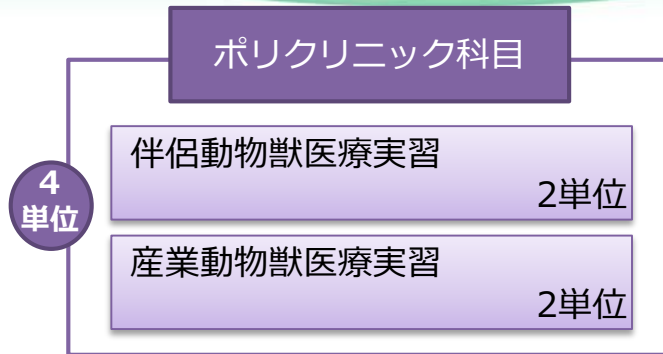
# 宿泊研修棟アツカムイの建築

学生移動による産業動物ポリクリ(含緊急・夜間診療)・  
公衆衛生実務実習への対応

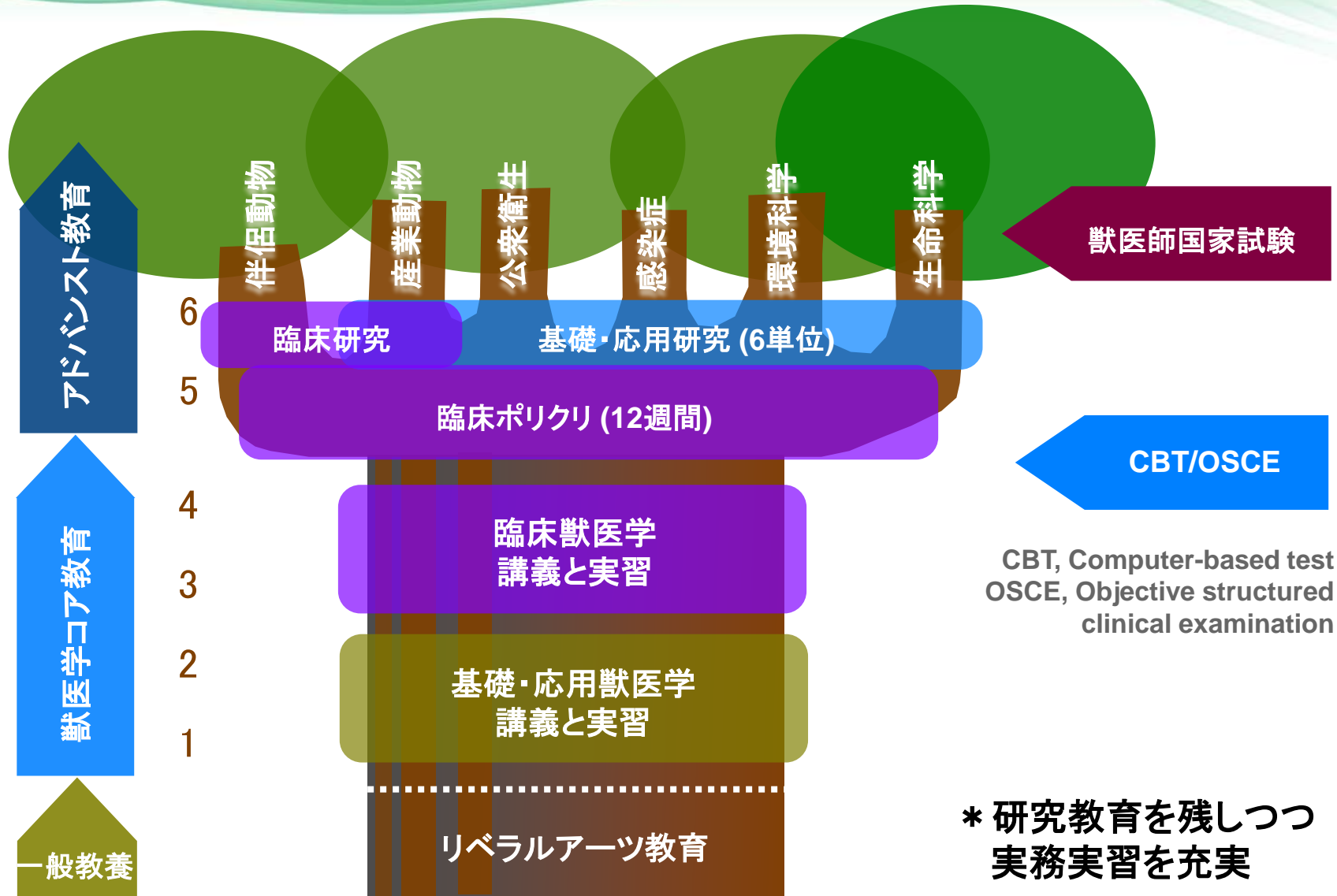


# 臨床実務実習(ポリクリ)の強化

平成28年度の共同獣医課程5年生より適用



# 日本の獣医学教育体系





# 欧州協力大学による事前審査(H26)

## H26欧州協力大学による事前診断

ハンガリー・聖イシュトバーン大学  
フォードール教授 [EAEVE前会長]

- ・帯畜大：10/20～
- ・北大：10/23～



ドイツ・ミュンヘン大学

ブラウン教授 [EAEVE副会長]

- ・帯畜大：11/4～
- ・北大：11/7～



## 診断概要

### 評価された主な項目

- 附属牧場の産業動物実習（帯畜大）
- 学内と畜場&乳肉加工実習（帯畜大）
- 動物病院の伴侶動物実習（北大）
- 実験動物施設（北大）
- 認証取得後は日本の共同教育課程制度を欧州(EAEVE)で活用

### 改善を求められた主な項目

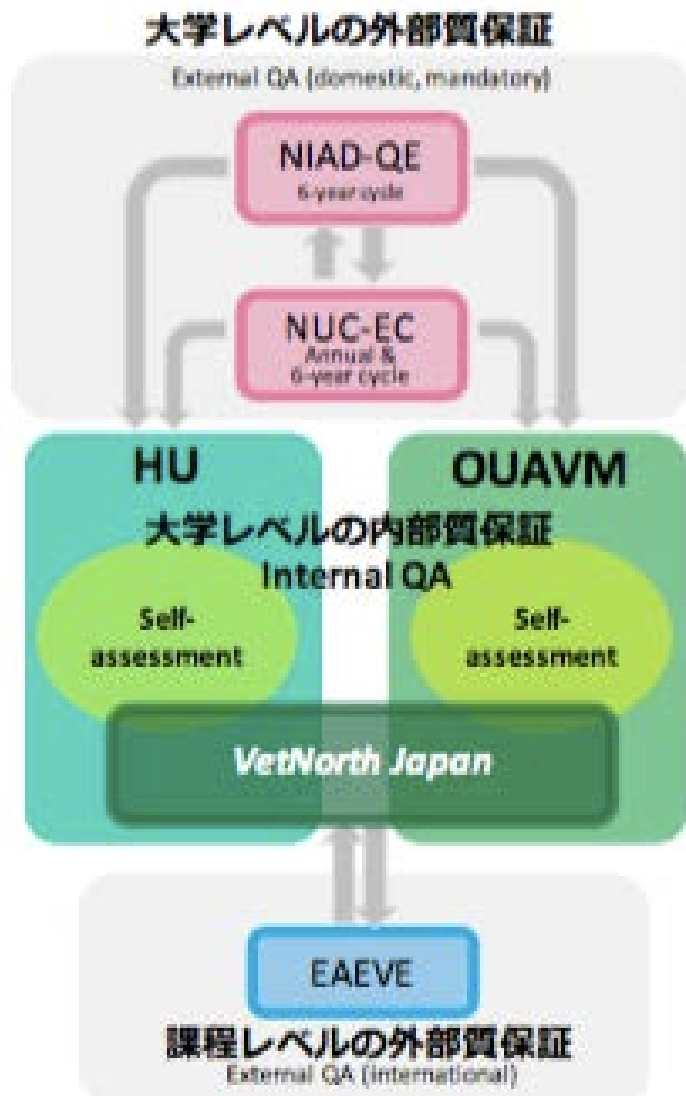
- 外部団体（獣医師会）との連携
- 動物病院臨床実習の時間数
- 夜間・救急診療実習
- 学外臨床実習
- 学外公衆衛生実習
- 産業動物(馬・豚・鶏)の臨床数
- 伴侶動物(イヌ・ネコ)の病理解剖数
- 動物愛護・動物倫理教育の強化
- 教育改善への学生参加

## 改善案



- 外部団体（獣医師会、NOSAI など）との協力体制強化
- 開業獣医師との連携強化
- 病院実習時間の大幅増
- 夜間・救急診療実習の新設
- 学外臨床実習の新設
- 学外公衆衛生実習の新設
- 附属牧場（馬・豚・鶏）の拡充
- 外部の牧場（馬）との協力体制強化
- 学生組織の新設
- カリキュラムの見直し・強化

# 日本における大学認証制度



- 大学レベルの外部質保証(第三者評価)
  - 文部科学省
  - 大学設置・学校法人審議会
  - 大学改革支援・学位授与機構(NIAD-QE)
  - 国立大学法人評価委員会(NUC-EC)
- 課程レベルの外部質保証(第三者評価)
  - 欧州獣医学教育確立協会(EAEVE)
  - 大学改革支援・学位授与機構(H29～)

# 国立大学法人の外部質保証システム

種類	評価の周期	評価実施主体	評価基準	結果
大学設置認可制度	無期限	文部科学省 大学設置・学校法人審議会	10の基準：総則、教育研究上の基本組織、教員組織、教員の資格、収容定員、教育課程、卒業の要件等、校地、校舎等の施設および設備等、事務組織等、雑則	北大：認可 (1918年) 畜大：認可 (1949年)
認証評価 (CEA)	7年周期 (6年を超えない)	学位授与評価機構 (NIAD-QE)	10の基準：大学の目的、教育研究組織、教員および教育支援者、学生の受入、教育内容および方法、教育の成果、施設・設備および学生支援、教育の内部質保証QAシステム、財務基盤および管理運営、教育情報等の公表	北大：満たしている (2016年) 畜大：満たしている (2011年、次回評価は2017年)
国立大学法人評価	年度評価・6年周期 (中間目標期間)	国立大学法人評価委員会 (NUC-EC)	各大学の中期目標・中期計画および教育・研究・経営に関する年間計画の達成状況の評価	北大：満たしている (2016年) 畜大：満たしている (2016年)



# 代表的な獣医学教育認証システム

## ■ 北アメリカ

- 米国獣医師会 (American Veterinary Medical Association: AVMA) の教育審議会 (Council on Education: COE)

## ■ 欧州

- 欧州獣医学教育確立協会 (European Association of Establishments for Veterinary Education: EAEVE) と 欧州獣医師連合 (Federation of Veterinarians of Europe: FVE)

## ■ オーストラリア・ニュージーランド

- オーストラレーシア獣医療審議委員会 (Australasian Veterinary Boards Council: AVBC) の獣医科大学認証諮問委員会 (Veterinary Schools Accreditation Advisory Committee: VSAAC)



# EAEVEによる獣医学教育認証

## 審査項目

- 目的と組織
- 財務
- カリキュラム
- 施設と設備
- 動物資源及び動物由来教材
- 学習環境
- 入学者受入方針・進級要件・福利厚生
- 学生評価
- 教員及びサポーティングスタッフ
- 研究プログラム・卒後教育・大学院教育
- 学修成果の評価と教育の質保証

**加盟獣医大学の認証状況(2017年): 74\*/96校が認証**

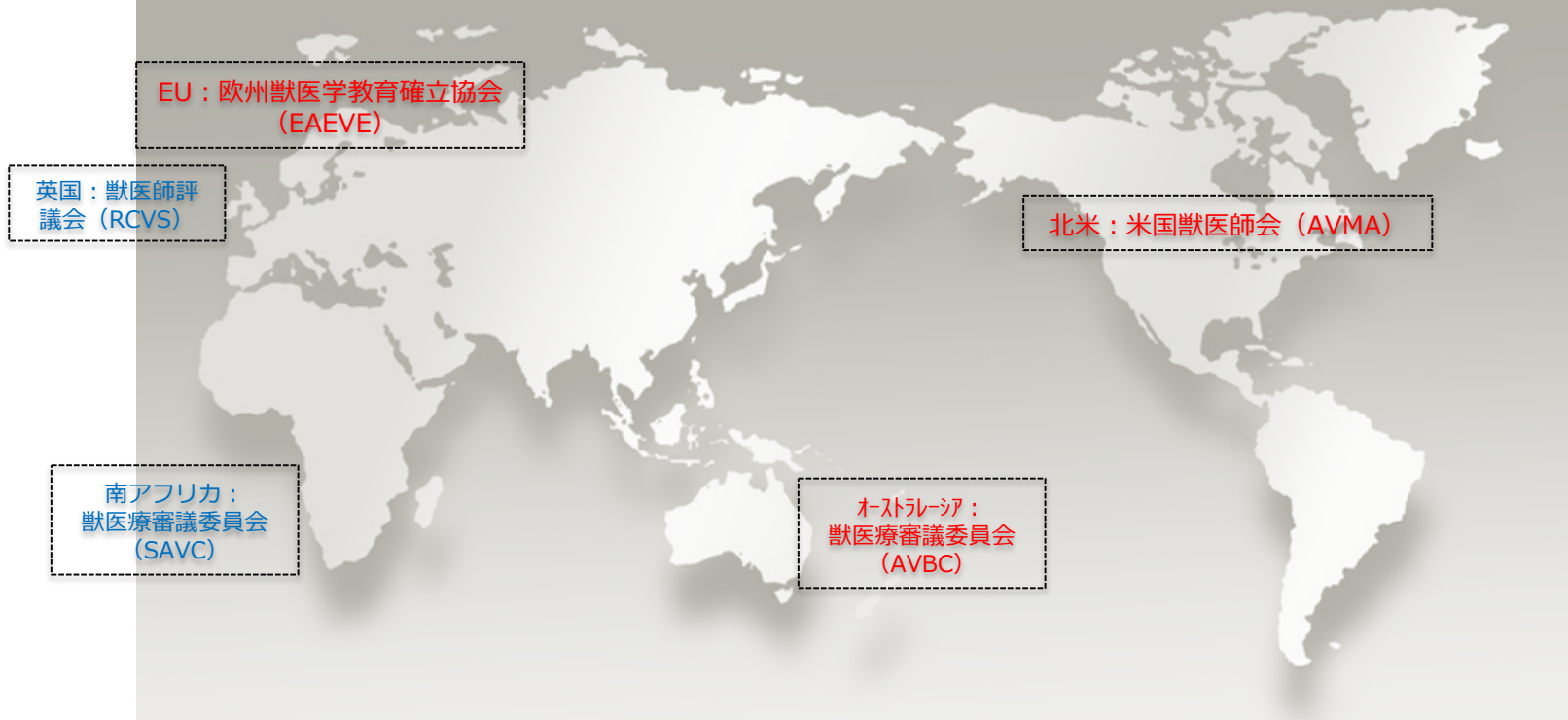
\*: Accreditation, Approval, Conditional Approvalを含む





# 獣医学教育認証制度の統一の試み

## International Accreditation Working Group (IAWG)



国際獣疫事務所(OIE)の先導により獣医学教育認証制度の統一が話し合われている

# 今後の獣医学教育改善と教育認証制度

- 研究を基盤とした獣医学教育の維持
- 臨床並びに公衆衛生実務実習の強化
- 国内獣医学教育認証制度の充実
- 欧米認証の取得とIAWGへの参画
- アジア獣医学教育認証設立への参画

